

# 第 2 回介護支援事業者研修会 報告書

「重層支援について」～事例を通じて～

日時: 2025 年 9 月 25 日 13:30～15:30

場所: 香芝総合福祉センター 会議室 1

## 【講義 1: 重層支援体制整備事業の概要説明】

- ・担当：香芝市 社会福祉課 課長 白石 敬治 氏
- ・高齢者、障がい者、子ども等の複合的課題に対応するための重層的支援体制が必要である
- ・平成 30 年改正社会福祉法に基づき、市町村に労働的支援体制の整備の努力義務
- ・相談支援事業、社会参加支援、地域づくり支援の 3 つの柱で事業を推進している。
- ・地域コミュニティセンターの役割強化や、市民の社会参加促進、関係機関との連携を進めている。

## 【講義 2: 福祉総合相談共同事業の取り組み 事例を通じて】

- ・担当：香芝市 社会福祉協議会 主幹 甲本 晋哉 氏
- ・社会福祉協議会に委託し、複合的な困難を抱える住民への相談支援を実施。
- ・複数の支援機関が連携し、チーム支援で個別課題に対応。
- ・相談窓口の一本化、連携体制の充実により、迅速かつ効果的な支援を目指す。
- ・相談事例の一例、家族構成や生活状況の課題を抱えた世帯に対する包括的支援を紹介。

(事例提供者 森谷氏)

- ・支援対象は、単一機関では対応困難な複雑な生活課題を有する人々

(8050 世代、ひきこもり等を含む)。

## 【ケーススタディ報告】

- ・具体的な支援事例を通じて、支援課程の実態と課題を共有。
- ・支援者と利用者の関係構築、支援プラン作成、課題解決に向けた取り組みを説明。
- ・関係機関（医療、福祉、教育、地域団体等）との連携強化の必要性を確認。
- ・支援者の孤立防止や連携・協働の重要性が強調された。

### 【 相談支援に関する質疑応答】

- ・ 本人同意が得られにくい場合の対応方法について、段階的な関わりが必要と指摘。
- ・ 引きこもりや障害を抱える本人に適切に接近する工夫や訪問支援の実施の提案。
- ・ 複雑な課題を一人で抱え込まず、関係機関で情報共有し支援体制を組むことの重要性を確認。

### 【 今後の連携強化に向けた取り組み】

- ・ 専門職間での情報共有、相談対応能力の向上を目指し、相談員および関係職員の参加促進を要請。
- ・ 重層的支援体制の更なる強化と多機関連携の促進を継続して推進する。
- ・ 福祉総合相談共同事業の体制充実を図り、複雑課題を抱える住民への支援を拡充する。
- ・ 支援者の孤立を防止し、複数機関が連携して課題解決を目指すチーム支援の実践を確認。
- ・ 本人同意や難しいケースには柔軟かつ段階的なアプローチを行い、支援の質の向上を図る。